

工事品質チェックシート

家を建てる方へ

このチェックシートは、家を建てる際に重要な工事品質をチェックするための資料です。

建築会社を訪問する際に、これらの 11 項目について、工事写真や施工状況を確認してください。

各項目ごとに、「NG（不適切な例）」と「OK（適切な例）」を写真で示しています。

品質の良い工務店は、これらの項目すべてに対して、適切な施工写真と検査記録を提示することができます。

建築会社選びの重要な判断基準となります。

1. 家の下の地面を、しっかり踏み固めているか

①ー1 「地面を固めるとき、どういう機械を使って、何回固めますか。 写真に残していますか。」

①工事写真がない
(地盤の締固めをしていない)
NG

②プレートコンパクターで
施工している (締固め力が弱い)
NG

③タンピングランマーを
使用しているが、締固め
の回数が解らない
NG



①ー2 「地面を固めるとき、どういう機械を使って、何回固めますか。 写真に残していますか。」

④タンピングランマーを使用し、
3回締め固めている
OK

⑤振動コンパクター、もしくは振動
ローラーを使用し2回締め固めている
OK



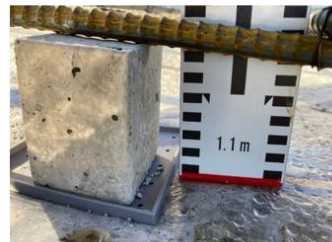
2. コンクリートの中の鉄筋が、深いところに守られているか

② 「ベタ基礎・耐圧盤の鉄筋被り厚さは何mmで施工していますか。被り厚さを測っている写真を見せて下さい。」

①工事写真がない
NG

②鉄筋の被り厚さ60mm
NG

②鉄筋の被り厚さ70mm
OK



3. 基礎のコンクリートの厚さは足りているか

③ー1 「ベタ基礎・耐圧盤のコンクリート厚さが解かる図面と、コンクリート厚さを測った写真を見せてもらえますか。」

①工事写真がない
NG

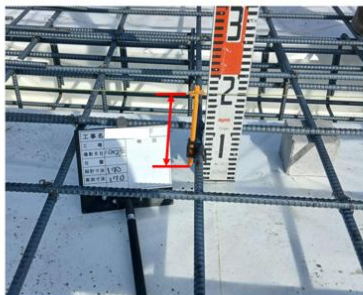
②スケールを当てていない
のでコンクリート厚さが
解らない NG

③コンクリート厚さゲージが
見当たらない無いたので、
コンクリート厚さが解らない
NG

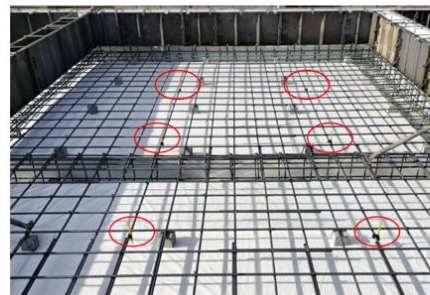


③ー2 「ベタ基礎・耐圧盤のコンクリート厚さが解かる図面と、コンクリート厚さを測った写真を見せてもらえますか。」

④厚さゲージを使用し、コ
ンクリート厚さが150mm
以上であることが解る
OK



⑤厚さゲージを使用してい
る全体写真がある
OK



4. 基礎の継ぎ目に、水や白蟻を防ぐ板があるか

④「ベタ基礎・コンクリート打ち継ぎ部から雨水や白蟻が侵入しないための処置はどのようにしていますか。写真を見せてもらえますか。」

× 工事写真がない
NG

× コンクリート打ち継ぎ部
に止水板が無い
NG

○ コンクリート打ち継ぎ部
に止水板がある
OK



5. 建方の日、建物を雨から守るシートを掛けているか

⑤ー1 建方工事で、家の骨組みや床合板を雨で濡らさない対策をとっていますか。写真を見せてもらえますか。」

①工事写真がない
NG

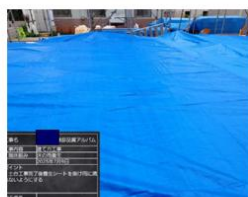
②床合板のシート養生
をしていない
NG

③骨組みの組み立て完了後
屋根と壁をシートで
囲っていない
NG



⑤ー2 建方工事で、家の骨組みや床合板を雨で濡らさない対策をとっていますか。写真を見せてもらえますか。」

④床合板をシートで2重に養生している
OK



⑤骨組みの組み立て完了後
屋根と壁をシートで囲っている
OK



6. 職人さんを守る墜落防止ネットがあるか

⑥「建方工事で、墜落防止の対策をとっていますか。
写真を見せてもらえますか？」

× 工事写真がない
NG

× 墜落防止のネットがない
NG

○ 墜落防止ネットを
設置している
OK



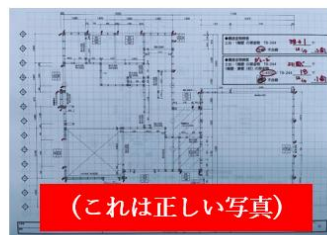
7. 骨組みの金物を、全部検査して写真に残しているか

⑦ー1 「構造金物は全数検査を行っていますか。
写真と検査チェック図面を見せてもらえますか。」

× 工事写真がない
NG

× 写真が50枚以下
NG

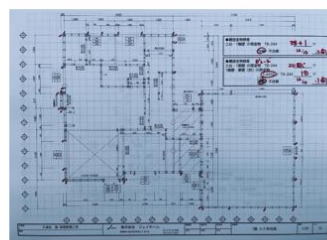
× 検査チェック図面
が2枚以下
NG



⑦ー2 「構造金物は全数検査を行っていますか。
写真と検査チェック図面を見せてもらえますか。」

○ 写真が60枚以上
OK

× 検査チェック図面
が6枚以上
OK



8. 窓（サッシ）下など外壁の雨漏れを防ぐ処理をしているか

⑧「外壁の雨漏れ防止対策は行っていますか。
雨漏れ防止の写真を見せてもらえますか？」

サッシ下の
水切りシート



パラペット部
水りシート



軒天
水切りシート



外壁防水紙
重ね代90mm以上



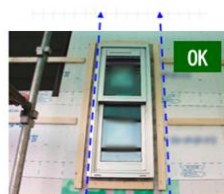
9. 外壁の通気部品を、全部取り付けているか

⑨「外壁の通気は、どのように行っていますか。
外壁通気の写真を見せてもらえますか。」

外壁の中



空気が流れない



空気が流れる

軒の出なし



通気部品もない



通気部品がある

軒の出あり



軒天に穴も開いていない
通気部品もない



通気部品がある

10. 断熱材にすき間がないか、写真で証明できるか

⑩「断熱・気密の検査は、どのように行っていますか。
断熱・気密の写真を見せてもらえますか？」

壁断熱材



天井断熱材



全棟気密試験実施

NG
気密試験
を実施していない。



壁・天井共すき間が無いことが解ればOK

	顧客名	C値		顧客名	C値
1	土曜 T.O様	0.3	1	森田 Y.T様	0.4
2	藤江 M.K様	0.4	2	伊藤 K.N様	0.4
3	菊池 Y.Y様	0.4	3	伊藤 S.G様	0.4
4	菊池 Y.N様	0.4	4	田中 H.M様	0.4
5	菊池 R.K様	0.3	5	菊池 H.N様	0.4
6	菊池 K.H様	0.4	6	森田 S.T様	0.3
7	菊池 Y.O様	0.2	7	菊池 S.Y様	0.4
8	菊池 Y.T様	0.4	8	伊藤 V.S様	0.4
9	菊池 T.Y様	0.3	9	菊池 S.S様	0.3
10	伊藤 N.Y様	0.3	10	森田 K.N様	0.4
11	伊藤 K.Y様	0.4	11	菊池 Y.Y様	0.4
12	菊池 K.N様	0.3	12	菊池 K.M様	0.4
13	菊池 T.K様	0.3	13	菊池 H.S様	0.4
14	伊藤 S.I様	0.4	14	菊池 T.H様	0.4
15	菊池 T.T様	0.4	15	新井 H.C様	0.4

気密試験結果をHPで公開

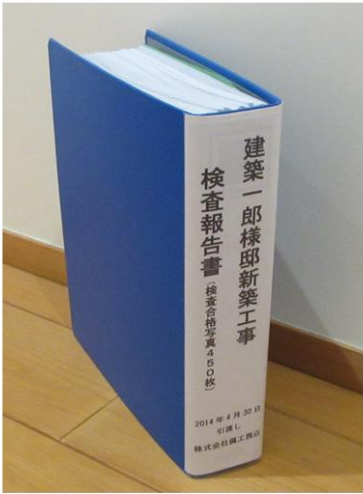
11. 見えなくなる重要な部分の検査

⑪ー1 「品質(検査)基準と検査チェックシートはありますか。
品質(検査)基準と検査チェックシートを見せて頂けますか。」

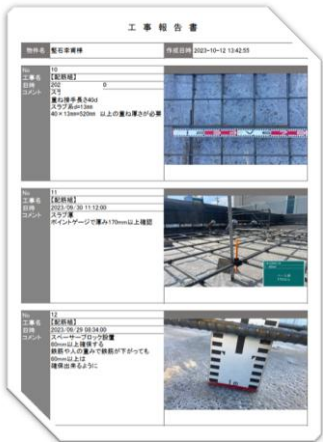
様邸 基礎工事完了検査チェックシート					
2024年4月改訂					
年 月 日					
NO	検査項目	検査方法	検査基準	合格	不
				合格	合格
1	建物配置	●	設定寸法±20mm以内		
2	ベンチマークと基礎の高さ	●	基礎天端で測定±20mm以内		
3	アンカーボルト	●	・出寸法：基礎天端から120mm±5mm ・芯ずれ：土台芯より±10mm以内 間隔は2m以内		
4	内部通気口	●	設計図通りの位置・図面上に✓印で確認		
5	基礎天端レベル	●	高低差2mm以内(±1mm) (測定間隔0.91m以内) 品確法 3/1000の以上は瑕疵 例：1mで2.9mm以内 10mで29mm以内		
6	対角長さチェック	●	計算値との差が±10mm以内		
7	立ち上がり部の幅	●	設定寸法±5mm以内		

全ての工事で
品質(検査)基準が
500項目以上あれば
OK

⑪ー2 見えなくなる重要な部分の検査合格写真は約400枚以上ありますか。
写真を見せて頂けますか。 その写真は完成すると頂けますか。



工事種別	お施主様に渡す写真枚数
1. 擁壁工事	47
2. 杭打ち工事	24
3. 基礎工事	88
4. 建方工事	85
5. 外部防水工事	52
6. 通気工事	25
7. 内断熱工事	67
8. 外断熱工事	22
9. 造作工事	14
10. 竣工検査	30
写真枚数合計	454



写真は約400枚の中身を確認する

○×品質集計表

検討している建築会社の「工事品質」をチェックする ○は安心できる現場 ×
は要注意の現場
(チェック当日に写真が無ければ×。後日写真を提出してきた場合も×)

No.	工事品質チェックシートの内容	A 社	B 社	C 社	D 社	E 社
1	家の下の地面を、しっかり踏み固めているか					
2	コンクリートの中の鉄筋が、深いところに守られているか					
3	基礎のコンクリートの厚さは足りているか					
4	基礎の継ぎ目に、水や白蟻を防ぐ板があるか					
5	建方の日、建物を雨から守るシートを掛けているか					
6	職人さんを守る墜落防止ネットがあるか					
7	骨組みの金物を、全部検査して写真に残しているか					
8	窓（サッシ）下など外壁の雨漏れを防ぐ処理をしているか					
9	外壁の通気部品を、全部取り付けているか					
10	断熱材にすき間がないか、写真で証明できるか					
11	見えなくなる重要な部分の検査					
○の合計数						

工事品質優良工務店認定制度			法令対象
審査項目（年1回実施）			項目
1	擁壁・敷地草木	2項目	2項目
2	建物傾斜	5項目	5項目
3	基礎の耐久性	21項目	19項目
4	構造躯体	8項目	6項目
5	雨漏れ防止	8項目	8項目
6	断熱・気密	10項目	9項目
6	外壁通気	4項目	4項目
7	社内竣工	1項目	1項目
8	工程ごとの検査	1項目	1項目
9	品質の説明	2項目	1項目
10	重大事故防止	3項目	3項目
合計		65項目	59項目

品質の良い工務店の選び方
11項目を伝授しました。

残り54項目は
工事品質優良工務店
を訪問して教えて貰って下さい。

人口50万人あたりに1社、全国に200社
「工事品質優良工務店認定」を育成します。

一般社団法人 日本中小建設業CS経営支援機構

工事品質優良工務店認定制度

制度概要

社）日本 CS 機構が年 1 回指導している建築会社の「検査報告書（検査合格写真約 4 0 0 枚）」と「工事現場」を 2 日間かけて審査を行い、審査項目 6 5 項目に合格した建築会社を「工事品質優良工務店」として認定する制度です。

1 年ごと更新審査（2 日）を行い認定の合否を、社）日本 CS 機構のホームページで公開します。

このホームページで公開したチェックシートの 11 項目は、工事品質優良工務店認定制度の最も重要な基準となっています。

認定工務店の特徴

- ・施工業者は、「検査（品質）基準」5 2 4 項目に基づき工事をしている。
- ・建築会社の現場監督は、「検査（品質）基準」5 2 4 項目に基づき、工種毎の「検査チェックシート」で検査をしている。
- ・見えなくなる重要な部分の工事項目について、検査に合格した写真約 4 0 0 枚保管し、建主に「検査報告書」としてまとめ提出している

この制度は 2 0 2 4 年 1 月に始まった制度で、現在認定された建築会社は 4 社、現在取組み中の建築会社は 1 0 社です。

1 0 年後には人口 5 0 万人当たり 1 社、全国に 2 0 0 社育成すること目指し取り組んでいます。

2 0 2 6 年 8 月 1 日

一般社団法人 日本中小建設業 CS 経営支援機構

代表理事 本多民治